

研修5日目。朝のカフェテリアでは、嶋田 和真君がなぜか首から紙をぶら下げて歩いていました。「今日は誕生日！」と紙に書き、留学生と話すきっかけにしていたようです。案の定、次から次へと声を掛けられます。カフェテリアのスタッフと写真を撮ったり、「Happy Birthday!」とすれ違いざまに言われたり、狙いは大成功です。自分をアピールすること、恥ずかしがらずに行動に移すこと、しっかりと実践出来るようになってきました。

本日は忙しく動いた一日でした。午前のレッスンが終わった後、ランチを持ってボストン大学の別棟教室に移動しました。ここで、ハーバード大学のキャンパスツアーをしてくださった松川原氏によるレクチャーが行われます。この会場は、いつも生活している寮や教室がある場所から15分ほど移動した場所にあります。ランチのブリトーやスナックを頬張り始めたところで、レクチャーが始まりました。最先端の企業を例に、アジアの波が去った後に押し寄せるITの波、AI & Robotの波、ブロックチェーンの波について具体例を基に説明されました。氏の言葉は、生のアメリカ経済が詰め込まれた遠くない未来の話でした。そこから、今の社会で求められている能力（問題解決・問題発見）、自分のメンタルとどう向き合うかという話に広がりました。話が進むにつれて、会場の雰囲気も変わってきました。今までは静かに、行儀よく話を聞いていた生徒さん達でしたが、徐々に松川原氏の言葉に身体全体を使って反応をしていくようになりました。今までこの研修で感じたことのないような、活気あふれる様子がレクチャー会場を包みます。「自分も松川原さんに質問を聞いてもらいたい！」と後から後から手が挙がります。残念ながら時間には限りがあります。「もっと質問したい人は、ぜひメールをして欲しい」と仰り、松川原氏はレクチャー会場を後にしました。彼が去った後も、「こんな話を大人から聞いたことがなかった！」「もっと話が聞きたかった！」と口々に話す声が聞こえました。

レッスンが終わってから、慌ただしくレクチャーを受け、しばしの休息に入りました。夕食後は、恒例のイブニングアクティビティです。今夜は待ちに待ったRed Soxの試合を見に行きます。観戦を希望している生徒さんは多く、その取りまとめをしてくれたのは荒木 花音さんです。チケットの手配や語学学校のスタッフとのやり取りは、ボストンに着いてからほぼ毎日行われました。高井先生やスタッフと何度も何度も話し、生徒さん達の意見をまとめ、とうとう観戦が叶いました。試合が行われるフェンウェイ球場へは、寮から徒歩20分程で着きます。球場の周りには地元のファンが押し寄せ、まるでお祭りのような雰囲気が漂います。高井先生との約束で、「試合が押ししても門限の22時までには帰ってくる」と決めていました。盛り上がりを見せた試合後半、ぎりぎりまで試合の行方を見守り、最後は寮まで全員が全力疾走で戻って来ました。

野球観戦以外には、イザベラ・ガードナー美術館訪問、フェンウェイでのショッピングやスポーツが行われました。美術館に行った生徒さん達からは「まるで中世のお城のような建築だった」と展示されている絵画の素晴らしさと共に、美術館の建物自体の美しさに圧倒されたようです。

皆が集まった所で、明日のスケジュール確認も兼ねたミーティングを開きました。本日はとても忙しい一日でしたが、明日はもっと忙しくなります。研修も後半に差し掛かり、疲労もたまっている頃だと思います。それでも皆弱音を吐かず、忙しいスケジュールを果敢にこなしています。研修前に比べ、明らかに成長している姿、もっと変わりたい！という気持ちがひしひしと伝わってきます。帰国の日は迫ってきました。アメリカ

での生活を一分一秒も無駄にしないよう、多くのことを吸収して頂きたいと思います。以上、本日のご報告とさせていただきます。

本日の主役！



松川原氏のレクチャー



真剣に聞き入ります



質問中



Red Sox 観戦中

